



火災・救急・救助 119 まとい
消防瓦版纏 No.385
 富良野広域連合富良野消防署占冠支署
 56-2119

暖房器具の取り扱いについて

11月となり占冠村では本格的な冬を迎える時期となりました。冬季間では暖房器具から火災に至るケースが多くみられます。そのほとんどが取扱いや管理上の不注意によるものです。使用する際には以下の点に注意しましょう。

- 埃が溜まらないように定期的に掃除をする。
- 暖房器具の周りに燃えやすいものを置かない。
- 暖房器具の上に洗濯物を干さない。
- 暖房器具の近くで消毒用アルコールなどを使用しない。
- 排気筒が雪に埋まらないよう定期的に除雪する。



火災は、ちょっとした気のゆるみや不注意から発生するものであり、決して他人事ではありません。大切な家族や財産を守るためにも、日頃から火災予防に努めましょう。



救急出場状況

(9月分)

交通労働災害	3件 (4人)
一般負傷	1件 (1人)
自損行為	3件 (3人)
急病	1件 (1人)
合計	4件 (3人)
9月計	12件 (12人)
累計	98件 (85人)
※ () 内は搬送人員	



地域とともに コミュニティ・スクール情報

～トナム学校～

5月に行う予定だった、トナム学校・トナム保育所合同大運動会ですが、今年はコロナウイルス感染症の影響で9月6日(日)に行いました。雨天のため1日延期しましたが、コロナウイルス感染症への対策を取りながら、今年も昨年度同様に保護者・地域住民参加型の運動会を行いました。

例年と違う取組として、学校だよりで事前に、運動会で育てたい児童生徒像を家庭や地域の方へお知らせしました。運動会で育てたい児童生徒像は①目標に向かって、児童生徒が相互に認め合える子、②積極的に運動する子、③保護者、地域住民と親睦を深められる子の3点です。めざす児童生徒像を学校・家庭・地域で共有することで、三者が協働して子ども達を育てることをめざしました。

また、トナム学校の運動会の特色の一つに、多様な国籍の方々と交流することができるという点が挙げられます。今年の運動会には、日本、ネパール、アメリカ、韓国・・・等々、おそらく5つ以上の国籍の皆さんが参加をしていました。そのような中、子どもたちは、もっている表現力の全力を出して、どうどうと運動会の種目説明を行いました。

トナムっ子は「人種の多様性」の中で生活し、自然と「人種の多様性」を受け入れる素地が育ってきていると感じました。

今年度から始まった「学習指導要領」では、「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。ポイントの1つが「地域と連携・協働しながらめざすべき学校教育を実現」することです。これまでもトナム学校では家庭・地域の連携を大切にしてきましたが、これからも一層、トナム地域の特色を活かし「めざす児童生徒像」を共有しながら、家庭・地域と連携・協働した教育活動を進めていきます。



占冠村教育委員会 56-2182

こんにちは 保健師です

このコーナーでは、健康や保険制度などの情報をお届けします。困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。
 住民課保健予防担当 56-2122

「物忘れが多くなった」と不安を感じる方もおられることかと思えます。不安を感じる方は、地域包括支援センターにご相談ください。仮に、認知症と診断されてもその日から何もできなくなるわけではありません。早くに相談し、早期に発見することができれば様々な準備を進めることができます。



認知症による物忘れと老化による物忘れの違い

認知症による物忘れの特徴

- 体験そのものを忘れてしまう
- 約束の内容や食事をしたこと自体を忘れる
- 買い物に行ったことを忘れ、再び買い物に行く
- ヒントを出しても思い出せない

「老化による物忘れの特徴」

- 体験の一部を忘れる
- 約束をうっかり忘れてたり、何を食べたか忘れる
- 買い物に行ったときに、うっかり買い忘れる
- ヒントがあれば思い出せる

認知症で見られる症状の一例

認知症の症状は大きく『中核症状』と『行動・心理症状(周辺症状)』に分けることができます。

中核症状とは、認知症の中核にあると想定されている症状で、脳の病変による認知機能の低下から引き起こされます。中核症状には、右に掲げるようなものが挙げられます。

中核症状に、性格や環境などの要因が加わり、不安やイライラ、幻覚、うつ状態など精神症状や行動の支障が起きるのが、『行動・心理症状』です。

中核症状

<p>記憶障害</p> <p>同じことを何度も言う、聞く。すぐ前のことを忘れてしまう。</p>	<p>理解、判断力の障害</p> <p>思考・判断速度の低下。二つ以上のことを上手に処理できない。</p>
<p>見当識障害</p> <p>時間・季節が分からなくなる。道に迷う、家族が分からなくなる。</p>	<p>実行機能障害</p> <p>計画を立て順序良く物事を進めることが難しい。</p>

行動・心理症状

不安やイライラ、幻覚、妄想、徘徊、うつ状態、興奮・暴力

認知症に早く気づくメリット

認知症は早期発見・診断と治療が非常に重要です。理由として、治る病気や一時的な症状であることがわかったり、早期に薬の服用を始めることで症状の進行を遅らせることができることがあげられます。また、症状が軽いうちに家族に自分の意思を伝えておくなど自分らしく生活を送る準備しておくことができます。

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です。今回の認知症に関する話以外に認知症予防、医療機関や相談窓口についてなどより詳しく紹介した「認知症ガイドブック」を無料配布しています。認知症の理解を深めるためにご活用ください。

認知症に関する相談窓口
 占冠村地域包括支援センター(村役場福祉子育て支援課)
 56-2022